

代表質問

市庁舎本館は存続させて活用の検討を



消費税増税の影響は

問 本市では地元のタクシー会社が連続して倒産するなど厳しい経済状況。消費不況のもとでの消費税増税は論外ではないか、市民生活への影響について市長の見解は。

答 市民生活への影響については注視をしつつ、国の施策に適切な対応を図りながら、市民生活の安定に努めたい。

市庁舎整備方針

問 本館の保存・活用について現在の検討状況を聞きたい。

答 登録有形文化財の本館は、歴史的価値やシンボル性の観点から残してほしいとの意見があるが、耐震性能やバリアフリー化などへの対応が改修でどの程度可能か検討したい。市庁舎全体の整備基本方針を検討する中で、本館の取り扱いも検討していく。

再発言 本館の保存を大前提に、基本的には壊さず残していく方向性を大きな基本方針としてはどうか。

十分な議論を尽くし多様な

市民意見を集約して、住民合意のもとに計画を進めてもらいたい。

絵本
ギャラリー

問 公共施設の設置には明確な目的が必要であり、設置目的を聞きたい。

答 絵本を通じたまちづくりに寄与し、絵本や原画に親しむことで、人々の豊かな感情や情緒を育むことを大きな目的としている。

問 建設に当たって、動物園の入園料の引き上げが検討されているが。

答 駐車場の整備など整備費や維持管理費が発生するため、改定を検討したい。

再発言 絵本ギャラリーの設置に反対ではないが、結果的に入園料の引き上げ、駐車場の有料化となり、市民・利用者の理解を得られるか疑問。

設置場所についても、公共施設への併設など再検討し、一旦計画を白紙に戻して、市民・議会の理解を得た計画として進めてほしい。

新栄町駅前市街地再開発事業

問 計画が大幅に遅れると報告された。同再開発事業の現状と課題、原因を聞きたい。

答 建設業務代行者から同意書が提出されず遅れている。同準備組合では、事業継続に

向け、協議されている。

問 今後の事業の見通しは。

答 同準備組合で協議が継続中であり、その状況を今後も踏まえていく必要がある。

再発言 総事業費118億8,000万円、市の負担額16億8,000万円という再開発事業が、全市民的な利益になるのか、市民合意が得られるのか、税投入における費用対効果があるのか、公益性の検証が明らかではないと指摘してきた。

現状を正しく分析し、事業を再検討してほしい。

水道事業の民営化

問 水道法の改正で水道施設の運営に民間事業者が参入できるようになった。今回の法改正をどう見ているか。

答 これまでどおり市町村経営の原則は変わらないと思うが、経営基盤の強化を図るため、自治体の状況に応じた官民連携や広域連携のあり方を検討していくべきと考える。

問 水道事業に民間企業が参入するメリットよりもさまざまなデメリットのほうが心配されているのが現状。法改正後の考えを再度聞きたい。

答 自治体による運営、公営が基本と考える。

